

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2020.03.10

京大病院医療安全情報120

【救急外来における患者誤認】 (第2報)

当院の救急外来における患者誤認対策

2011年～ 全患者リストバンド装着

2012年～ 「予約リスト選択画面」 からカルテを開く

事例

救急車到着時点で、まだ受付されていない患者



研修医がカルテの患者検索機能にて検索



同姓同名・同年齢の患者が1名しかいなかった



そのカルテで診療を開始
検査をオーダーし、実施した



別の医師が予約リスト選択画面からカルテを開いた際に
記録がないことに気づき、患者誤認が発覚



インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報120

救急外来では 予約リスト選択画面からカルテを開く

最新表示

検索条件

予約種別 診療
診療科 救急
予約名称 全て
予約日指定 2020-02-18

入外区分 全て 外来 入院

印刷刷指定 予約時間順 予約時間順+申込順 予約名称順
 患者さんの50音順

カルテを開く
一括出力
患者指定出力
プレビュー
印刷

時間	患者ID	患者氏名	年齢	性別	併科受診	診前検査	二度診察	初再	予約名称	コメント	来院	病棟
----	------	------	----	----	------	------	------	----	------	------	----	----

ここから
患者選択して
カルテを開く

新患患者の場合、
患者到着後にID発番しますので、
予約リストからカルテを開いてください。

患者検索機能のリスク

- 同姓同名（カナ検索）の方は多くいます。
- 同姓同名・同年齢・生年月日の近い患者でカルテを間違えた報告があります。
- ホットラインの患者情報は口頭のため、言い間違い、聞き間違いの可能性ががあります。

カルテ間違いは、誤った治療につながる恐れがあります。

放射線画像情報およびレポートのデータ修正には数日かかることがあります。
また、別患者さんに紐付いてしまったオーダーや検査結果は消せません。